

2. 選定群落の現状

ここでは、第3回基礎調査までに選定されて第5回基礎調査で追跡調査が行なわれた群落（5,085群落）と、第5回基礎調査の追加調査で選定された群落（386群落）の計5,471群落を対象にして、各区分からみた特定植物群落の現状を示した（追跡調査実施群落には第5回基礎調査で削除された群落も含まれる）。

2-1. 都道府県別・地方別選定状況

都道府県別の選定群落数は北海道が227件と最も多く、次いで秋田県（222件）、山口県（197件）、島根県（191件）、青森県、静岡県（共に181件）の順となった（表2-1）。

地方別にみると、北海道が227件、東北が898件、関東が638件、中部が1,170件、近畿が691件、中国が676件、四国が277件、九州が894件である（表2-2）。

また、都道府県別の特定植物群落の面積は、北海道が最も面積が大きく378,954ha、次いで長野県の229,652ha、山形県（128,934ha）、秋田県（40,617ha）、宮城県（38,068ha）の順となった。

地方別にみると、北海道は378,954ha、東北が263,059ha、関東が49,230ha、中部が252,056ha、近畿が24,155ha、中国が22,163ha、四国が12,905ha、九州が82,441haである。北海道や東北では大面積の群落が多く、群落数自体も多いため、地方としての面積が大きくなっている。中部では該当する県の数が多く、群落数も多いことから、地方全体の面積が大きい。

2-2. 植生自然度別選定状況

特定植物群落が選定された地域の、日本全体での植生の中での傾向をみるため、3次メッシュ単位の植生自然度（植生調査で用いられている区分）との関係を集計した。植生自然度別にみた特定植物群落の選定状況は、自然度9（自然林）が最も多く14,765メッシュ（全特定植物群落メッシュの46.18%）であった（表2-3）。植生調査によるメッシュ数では自然度9は65,824メッシュ（全国の17.85%）であるのに対し、特定植物群落では全体に占める割合が高く、自然林において特定植物群落が多く選定されているといえる。

また、自然度10（自然草原）においてもメッシュ数は1,739メッシュであるが、構成比が5.44%と植生調査（1.08%）よりも高くなっており、自然草原においても特定植物群落に選定される比率が高いことがわかる。選定割合（全国の自然草原メッシュに対する特定植物群落メッシュの割合）は43.55%である。

反対に、二次林、植林地、農耕地ではメッシュ数が多くても植生調査に比べて構成比が低くなっており、特定植物に選定される箇所が少ない。

表2-1 都道府県別特定植物群落の件数及び面積

都道府県	件数	面積(ha)
北海道	227	378,954
青森県	181	15,149
岩手県	119	35,572
宮城県	150	38,068
秋田県	222	40,617
山形県	105	128,934
福島県	121	4,719
茨城県	68	4,881
栃木県	65	1,908
群馬県	146	23,782
埼玉県	55	465
千葉県	86	2,607
東京都	95	10,018
神奈川県	123	5,569
新潟県	138	3,818
富山県	172	301
石川県	125	3,099
福井県	115	2,125
山梨県	125	2,999
長野県	100	229,652
岐阜県	119	3,441
静岡県	181	5,895
愛知県	95	725
三重県	115	8,746
滋賀県	154	2,909
京都府	86	2,923
大阪府	39	164
兵庫県	126	1,475
奈良県	51	5,374
和歌山県	120	2,563
鳥取県	74	2,192
島根県	191	2,343
岡山県	90	991
広島県	124	12,607
山口県	197	4,031
徳島県	84	2,880
香川県	39	342
愛媛県	76	913
高知県	78	8,770
福岡県	113	3,740
佐賀県	71	1,793
長崎県	107	1,771
熊本県	93	14,169
大分県	73	15,146
宮崎県	172	28,848
鹿児島県	96	10,775
沖縄県	169	6,198
合計	5,471	1,084,963

*小数点以下は、小数第1位を四捨五入した。

表2-2 地方別特定植物群落の件数及び面積

地方	件数	面積(ha)
北海道	227	378,954
東北	898	263,059
関東	638	49,230
中部	1,170	252,056
近畿	691	24,155
中国	676	22,163
四国	277	12,905
九州	894	82,441
合計	5,471	1,084,963

*小数点以下は、小数第1位を四捨五入した。

地方の集計単位に用いた都道府県の区分

地方	都道府県
北海道	北海道
東北	青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島
関東	茨城, 栃木, 群馬, 埼玉, 千葉, 東京, 神奈川
中部	新潟, 富山, 石川, 福井, 山梨, 長野, 岐阜, 静岡, 愛知
近畿	三重, 滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山
中国	鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口
四国	徳島, 香川, 愛媛, 高知
九州	福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄

表2-3 植生自然度別の特定植物群落メッシュ数

植生自然度	特定植物群落 メッシュ数	構成比(%)	植生メッシュ数	構成比(%)	選定割合(%)
不明	7	0.02	70	0.02	10.00
1 市街地等	789	2.47	15,999	4.34	4.93
2 農耕地	2,605	8.15	77,734	21.08	3.35
3 樹園地	205	0.64	6,788	1.84	3.02
4 シバ草原	582	1.82	7,552	2.05	7.71
5 ササ・ススキ草原	965	3.02	5,568	1.51	17.33
6 植林地	4,883	15.27	91,414	24.79	5.34
7 二次林	3,083	9.64	68,540	18.59	4.5
8 自然林に近い二次林	1,607	5.03	19,598	5.32	8.2
9 自然林	14,765	46.18	65,824	17.85	22.43
10 自然草原	1,739	5.44	3,993	1.08	43.55
水域など	740	2.31	5,647	1.53	13.1
合計	31,970	100	368,727	100	8.67

*選定割合は植生メッシュ数に対する特定植物群落メッシュ数の割合
 (選定割合＝特定植物群落メッシュ数／植生メッシュ数×100(%))

2-3. 選定基準別選定状況

特定植物群落の選定の際には、以下の選定基準が用いられる。

- A：原生林もしくはそれに近い自然林
- B：国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落又は個体群
- C：比較的普通にみられるものであっても、南限、北限、隔離分布等分布限界になる産地にみられる植物群落又は個体群
- D：砂丘、断崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの
- E：郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの
- F：過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても長期にわたって伐採等の手が入っていないもの
- G：乱獲その他人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落又は個体群
- H：その他学術上重要な植物群落又は個体群

なお、以下の文中には基準名のみ表記する。

地方別の選定基準をみると、北海道及び東北では、選定基準Dが最も多く（100件、352件）、次いで基準A（73件、259件）となった（表2-4）。これに対して関東、中部、四国、九州では、選定基準Aが最も多かった（順に231件、543件、120件、292件）。しかし、Aに次いで多い選定基準をみると、関東は基準E（161件）、中部と四国は基準D（302件、63件）、九州は基準B（245件）となり、各地方で異なる。また、近畿と中国では選定基準Eが最も多く（229件、355件）、共に次いで基準A（202件、331件）が多い。

全国では、選定基準Aが2,051件（37%）、と最も多く、次いで基準Dが1,462件（27%）、基準Eが1,387件（25%）、基準Hが780件（14%）、基準Bが696件（13%）、基準Cが668件（12%）、基準Gが601件（11%）、基準Fが184件（3%）となった。

2-4. 相観区分別選定状況

特定植物群落を相観区分別にみると、暖温帯常緑広葉高木林や冷温帯夏緑広葉高木林が最も件数が多く（1,328件、686件）、次いで個体群、湿地植生が多かった（579件、395件）。このことは、照葉樹林やブナ林の原生林が多く選定されている一方で、近年希少になりつつある個体群や希少な植物を多く含む湿地植生も多いことが分かる（表2-5(1)～(3)）。

また、面積でみると、植生一般が最も大きく（379,780ha）、次いで亜寒帯植生で214,493haとなる。これは、いくつかの群落区分を含んだ大規模な原生林や自然植生が植生一般として区分されていること、北海道の大面積の群落の多くが亜寒帯植生に分類されていること（全国の面積の82%）が影響している。

2-5. 面積区分別選定状況

地方別に特定植物群落の面積区分別の選定状況をみると、北海道では500ha未満の群落が57件で最も多く、50ha未満で43件、5,000ha未満で42件と、面積の大きい群落が多く選定されている（表2-6）。また、東北、関東、中国、四国、九州では面積が10ha未満の群落が

表2-4 地方別選定基準別の件数及び面積

上段: 件数, 下段: 面積(ha). それぞれの直下に割合

地方	A	B	C	D	E	F	G	H	無回答	合計
北海道	73	15	12	100	47		27	26		227
	32%	7%	5%	44%	21%		12%	11%		100%
	126,045	5,839	26,419	214,517	28,635		15,571	26,819		378,954
東北	33%	2%	7%	57%	8%		4%	7%		100%
	259	48	149	352	100	29	66	132	1	898
	29%	5%	17%	39%	11%	3%	7%	15%	0%	100%
関東	228,993	3,675	4,099	32,233	3,389	4,440	2,949	33,687		263,059
	87%	1%	2%	12%	1%	2%	1%	13%		100%
	231	75	75	157	161	34	59	51		638
中部	36%	12%	12%	25%	25%	5%	9%	8%		100%
	36,576	2,273	2,362	11,297	5,091	1,879	1,080	2,414		49,230
	74%	5%	5%	23%	10%	4%	2%	5%		100%
近畿	543	167	159	302	253	40	199	113		1,170
	46%	14%	14%	26%	22%	3%	17%	10%		100%
	240,345	173,022	150,000	196,271	5,702	582	5,683	1,607		252,056
中国	95%	69%	60%	78%	2%	0%	2%	1%		100%
	202	63	66	134	229	24	89	151		691
	29%	9%	10%	19%	33%	3%	13%	22%		100%
四国	11,800	1,076	3,014	2,186	8,515	474	1,364	15,344		24,155
	49%	4%	12%	9%	35%	2%	6%	64%		100%
	331	48	49	129	355	18	43	112		676
九州	49%	7%	7%	19%	53%	3%	6%	17%		100%
	11,852	5,033	424	4,022	6,597	62	783	1,587		22,163
	53%	23%	2%	18%	30%	0%	4%	7%		100%
合計	120	35	18	63	53	8	17	28		277
	43%	13%	6%	23%	19%	3%	6%	10%		100%
	10,719	715	1,084	5,343	995	172	50	156		12,905
九州	83%	6%	8%	41%	8%	1%	0%	1%		100%
	292	245	140	225	189	31	101	167		894
	33%	27%	16%	25%	21%	3%	11%	19%		100%
合計	58,283	30,567	16,810	8,799	18,893	3,177	3,915	9,793		82,441
	71%	37%	20%	11%	23%	4%	5%	12%		100%
	2,051	696	668	1,462	1,387	184	601	780	1	5,471
合計	37%	13%	12%	27%	25%	3%	11%	14%	0%	100%
	724,614	222,201	204,212	474,667	77,816	10,787	31,395	91,408		1,084,963
	67%	20%	19%	44%	7%	1%	3%	8%		100%

*0%と記入されているものは、1%未満(件数0ではない)。